

令和 8 年 2 月 24 日
福祉局ユマニチュード推進部、総務企画局国際交流課

市政記者各位

『認知症フレンドリーシティへの取り組み』

日本初！「メイヤーズ・チャレンジ 2025-2026」の受賞者に選ばれました

福岡市では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまちを目指し、「認知症フレンドリーシティプロジェクト」を実施しています。

このたび、世界的な実業家のブルームバーグ氏が主催し、都市が直面する課題を解決する革新的なアイデアを競う国際コンペ「メイヤーズ・チャレンジ 2025-2026」において、福岡市の「認知症フレンドリーシティへの取り組み」が トップ 24 都市の受賞者の一つに選ばれました！（112 か国 630 都市が応募）

今回のコンペでは、2025 年 6 月にトップ 50 都市に選出されて以降、実証実験を行いながらアイデアをブラッシュアップしてきました。認知症フレンドリーシティの専門家を養成する当初のアイデアを、AI やデータベースを活用することでさらに効果的で持続可能なアイデアに進化させたことが評価されました。

今後、受賞者に贈呈される事業資金 100 万ドルで、アイデアの実施に取り組んでまいります。

応募概要

（1）応募内容

- ・ 認知症フレンドリーシティの専門家を養成
- ・ AI・データベースの活用
⇒ 認知症の方や家族、行政、企業が協働し
新たな価値を創出する「イノベーションエコシステム」を構築

（2）評価のポイント

- ・ 福岡市は、認知症に対する向き合い方を変えている。
- ・ 世界の高齢化社会が 介護体制を再考させるためのモデルを思いやり深くタイムリーに提供している。
- ・ 今までの高齢者支援に関するアイデアの中でも 突出して素晴らしい。



【参考】メイヤーズ・チャレンジとは

- ・ 元ニューヨーク市長で、金融情報企業ブルームバーグ社創業者でもあるマイケル・ブルームバーグ氏により 2004 年に設立された慈善財団「Bloomberg Philanthropies」が開催するプログラム
- ・ 人口 10 万人以上の都市が応募可能。過去に 5 回開催され、累計 1,660 都市が応募し 38 都市が選出

詳しくはこちらをご覧ください <https://bloombergcities.jhu.edu/program/mayors-challenge>

【問い合わせ先】

○応募内容に関するお問い合わせ
福祉局ユマニチュード推進部
担当 笠井 TEL 092-711-4790

○メイヤーズ・チャレンジに関するお問い合わせ
総務企画局国際部国際交流課
担当 中戸 TEL 092-711-4023